

# 聞こえの困難さに応じて音声文字化

## 【活用したICT機器、ソフトや機能等】

1人1台端末、文字変換ソフト、大型ディスプレイ、ウェアラブルマイク、ミラーリングできる無線接続機器

1人1台端末等と音声文字化するソフトや機能を組み合わせて、聞こえの困難さに応じて、支援機器等を活用し学習活動を展開している。

### ○ 即時的な情報保障としての活用

A L Tが専用のマイクを装着し、話す音声を1人1台端末等で文字変換させ、それを大型ディスプレイに英語で表示している。

表示されたテキストを読む学習活動は、既習事項を活用して、その内容を理解することにもなることから、生徒の主体的な活動や外国語学習に対する意欲の喚起につながるようにしている。

